

# シルバー やまなし

第38号  
令和元年9月



【甲府駅ビル・公共交通】

## ◆目次◆

・会長あいさつ	2ページ
・山梨労働局職業安定部長あいさつ	3ページ
・山梨県産業労働部長あいさつ	4ページ
・令和元年度定時総会	5ページ
・令和元年度事業計画（概要）	7ページ
・安全・適正就業推進委員会	11ページ
・安全・適正就業強化月間事業	12ページ
・高齢者活躍人材確保育成事業	13ページ
・シルバー派遣事業運営委員会・事務局長会議	14ページ
・平成30年度シルバー人材センター事業状況	15ページ
・安全標語・編集後記	16ページ



## 「魅力あるシルバー人材センター」に向けて

山梨県シルバー人材センター連合会 会長 角田 義一

今年、4月末に前天皇陛下が退位され、30年続いた平成の時代が終わり、新たに天皇陛下をお迎えして「令和」という新しい時代が始まりました。令和の時代も更に良い時代が続くことを望むものであります。

さて、我が国での現在のシルバー事業を取り巻く状況は、企業就労の増加や民間の高齢者紹介、派遣、ボランティア組織の増加などにより高齢者が活躍する場の増加・多様化が進んでいます。

こうした中で、高齢化の進展や人手不足などにより、生きがい就労提供の場や働き手として、また、地域の支えとしてシルバー人材センターの期待が高まっています。

しかし、全国的にシルバー人材センターはこのところ停滞を続けており、地域の期待に十分応えられていない状況にあり、そうならないためにも停滞から脱して高齢者にとって魅力があり、地域にとって存在感のあるシルバー人材センターを目指すことが必要であります。

そのため、特に今年度の「重点目標」としては、会員のニーズに沿った多様な就労機会の提供や地域の役に立つ事業の展開など時代の要請にあった事業の展開と「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の拡大とシルバー人材センターのイメージの転換として広報等の積極的な展開が必要となってきます。

「時代の要請にあった事業の展開」としては、シルバー派遣の活用や「適正就業ガイドライン」を踏まえた適正就業の徹底、業務拡大の指定の活用、ホワイトカラー層向けや女性向け等の新たな仕事の創出、80歳を超えても生きがい就労ができる仕組みなど高齢者の就労志向や地域経済のニーズに対応した多様な展開が必要となります。

更には「地域の役に立つ事業の展開」として「介護予防生活支援総合事業」や「福祉・家事援助サービス事業」など要支援高齢者に対する事業や子育て現役世代や子供たちへの支援、「空き家管理事業」など地域のニーズに対応した事業などの展開が必要となってきます。

こうした事業実施のため、今年度におきましても連合会と各拠点センターがさらに連携を密にして事業の推進に努めていく考えでありますので、引き続き各拠点シルバー人材センターの皆様のご理解とご協力をお願いするとともに県民各位のご支援をお願い申し上げ、挨拶いたします。



## 地域の頼れる存在に あなたも“頼れるンジャー”

山梨労働局 職業安定部長 鈴木 雅征

山梨県シルバー人材センター連合会をはじめ、県内各拠点シルバー人材センターの皆様におかれましては、日頃より労働行政の推進につきまして、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

秋田県での2年間の転勤生活を終え、4月より山梨県にまいりました。着任した4月1日に新元号「令和」の発表があり、5月にスタートしてから数か月が過ぎましたが、希望に満ち溢れた新しい時代が築かれることを心より願っています。

さて、本年6月の県内有効求人倍率は1.47倍と依然として高い水準を示しており、人手不足が一段と深刻化している中、少子化を背景として、現役世代の労働力は減少の一途を辿っており、当県においても若者の県外流出は大きな課題となっています。

5月に開催された未来投資会議では、「70歳までの就業機会の確保」が示されました。高齢化の一層の進展、現役世代の急減という2040年の人口構造に対応し、我が国の成長力を確保するためにも、より多くの方が意欲や能力に応じて社会の担い手としてより長く活躍できる環境整備が必要なことから、個々の高齢者の多様性を踏まえ、従来の65歳までの雇用確保措置に加え、様々な就業や社会参加の形態も含めて、その活躍を促進するというものです。この推進を支える施策の中に、シルバー人材センターの職域拡大・女性会員の拡充の強化も盛り込まれているところです。

多様な働き方での就業を希望する高齢者の活躍の場として、請負や派遣を中心に多様な就業機会を提供するシルバー人材センターは、先駆者であり中心的な存在です。1人でも多くの高齢者の方が、生き甲斐を持ち、雇用・就業を通じて地域・社会に貢献していただける生涯現役社会の実現に不可欠な存在と確信しています。

“頼れるンジャー”はシルバー人材センターのPRに使用されている戦隊ヒーローに扮したシルバー会員の方々のイラストキャラクターですが、まさしく地域の頼れる存在となっているところです。

最後に、労働局とのより一層の連携をお願いするとともに、会員の皆様の益々の御活躍と御健勝を御祈念申し上げ、挨拶いたします。





## 『シルバー人材センター事業の推進について』

山梨県産業労働部長 中澤和樹

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会及び各拠点シルバー人材センターの皆様には、日頃から県政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成 30 年度末の県内の各拠点センターにおける業務の受注件数は 26,016 件と、前年同期に比べて 229 件上回り、過去 10 年間で最も多い結果となっております。

これもひとえに、役職員の皆様をはじめ、会員一人ひとりの御努力の賜と改めて敬意を表する次第です。

さて、県で毎年実施している高齢者福祉基礎調査によりますと、本県における平成 31 年 4 月 1 日現在の 65 歳以上の高齢者人口は、24 万 7 千人となっております。これは、山梨県の総人口の約 30% に及びその率は年々増加しております。一方、県全体の総人口は平成 15 年をピークに減少に転じており、将来の急激な人口減少と高齢化が見込まれているところであります。

男女ともに健康長寿全国トップクラスを誇る本県において、元気な高齢者の皆様が、その能力や経験を生かしながら、生涯現役で活躍できる環境を整えていくためには、シルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要となってきています。

また、派遣業務につきましては、1 人あたりの労働時間の上限が週 20 時間と定められていましたが、地域の実情に応じた制度の見直しがされ、平成 28 年度から知事が指定する職種において、週 40 時間を上限とする業務の提供が可能となりました。

県では、これまで、農業、クリーンセンターにおける分別作業など 16 職種について、就業時間の延長の指定を行い、高齢者が働くことができる機会を広げてきましたが、今後も多くの職種の指定に努め、高齢者の就労ニーズに応じて参ります。

シルバー人材センターにおかれましても、引き続き、更に多くの会員の確保に努めていただくとともに、長年培ってこられた知識や技能が発揮できる新規事業の開拓を進めるなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会の提供に積極的に取り組んでいただき、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進、活力ある地域づくりにつながりますよう、一層の御尽力をお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、挨拶といたします。

## 令和元年度 定時総会開催される

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会の令和元年度定時総会が 6 月 21 日に山梨県立男女共同参画推進センター「ぴゅあ総合」において、全ての会員の出席のもと、山梨労働局職業安定部長鈴木雅征様、山梨県産業労働部次長杉田真一様他関係者のご列席をいただき厳粛のうちに開催されました。

会長の冒頭のあいさつの中で、「我が国での現在のシルバー事業を取り巻く状況は、企業就労の増加や民間の高齢者紹介、派遣、ボランティア組織の増加などにより高齢者が活躍する場の増加・多様化が進んでいる中で、生きがい就労の場や地域の支えとしてシルバー人材センターへの期待が高まっている。そのため、会員のニーズに沿った多様な就労機会の提供や地域に役立つ事業の展開が必要となるため、引き続き各拠点シルバー人材センターの皆様のご理解とご協力をお願いしたい。」との話がありました。

その後、来賓の方々より祝辞を戴いた後、審議に入り提出されました議案、報告案件は全て承認され、無事閉会することができました。各位のご協力に感謝申し上げます、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

承認決議いただきました事案は次のとおりであります。

- ① 報告第 1 号 平成 30 年度収支補正予算について
- ② 報告第 2 号 平成 30 年度事業報告について
- ③ 議案第 1 号 平成 30 年度収支決算について
- ④ 議案第 2 号 補欠役員を選任について
- ⑤ 報告第 3 号 令和元年度事業計画について
- ⑥ 報告第 4 号 令和元年度収支予算について



角田会長あいさつ

## 理事3名・監事1名が新たに選任されました

当連合会の理事でありました秋山広志氏、築野剛司氏が6月21日付けをもって辞任したことに伴い、後任として山本信氏、加藤俊徳氏と代表理事（副会長）でありました小林徳雄氏の死去に伴う理事後任として田中敏彦氏の3氏と監事でありました田中敏彦氏の辞任により後任として野崎行廣氏が定時総会において選任されました。また、総会終了後開催されました理事会において、代表理事（副会長）に田中敏彦氏が選定されました。

## 公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会 役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	角田 義一	(公社) 笛吹市シルバー人材センター
副会長	田中 敏彦	学識経験者
常務理事	長瀬 博志	(公社) 山梨県シルバー人材センター連合会
理事	齋城 和久	(公社) 甲府市シルバー人材センター
理事	小林 和人	(公社) 東部広域シルバー人材センター
理事	小澤 一博	(公社) 東山梨地区広域シルバー人材センター
理事	栗原 武久	(公社) 富士五湖広域シルバー人材センター
理事	山本 信	(公社) 峡北広域シルバー人材センター
理事	増原 俊郎	(公社) 峡南広域シルバー人材センター
理事	斉藤 晴彦	(公社) 峡中広域シルバー人材センター
理事	加藤 俊徳	(公社) 南アルプス市シルバー人材センター
理事	土屋 伝二	(公社) 笛吹市シルバー人材センター
監事	野崎 行廣	学識経験者
監事	内藤 運富	学識経験者

## 各シルバー人材センター 理事長・事務局長名簿

シルバー人材センター名	理事長	事務局長	設立年月
(公社) 甲府市シルバー人材センター	齋城 和久	仲沢 章	S56. 4
(公社) 東部広域シルバー人材センター	堀内 富久	小林 和人	S63. 4
(公社) 東山梨地区広域シルバー人材センター	田邊 篤	小澤 一博	H 2. 4
(公社) 富士五湖広域シルバー人材センター	堀内 茂	栗原 武久	H 2.10
(公社) 峡北広域シルバー人材センター	渡邊 英子	山本 信	H 3. 1
(公社) 峡南広域シルバー人材センター	志村 学	増原 俊郎	H 3.11
(公社) 峡中広域シルバー人材センター	保坂 武	斉藤 晴彦	H 4. 2
(公社) 南アルプス市シルバー人材センター	金丸 一元	加藤 俊徳	H 4. 3
(公社) 笛吹市シルバー人材センター	山下 政樹	土屋 伝二	H 4. 6
(公社) 山梨県シルバー人材センター連合会	角田 義一	長瀬 博志	H10.10

# 令和元年度 事業計画(概要)

## 第1 シルバー事業を取り巻く状況

我が国での現在のシルバー事業を取り巻く状況は、企業就労の増加や民間の高齢者紹介、派遣、ボランティア組織の増加などにより高齢者が活躍する場の増加・多様化が進んでおり、こうした中で高齢化の進展や人手不足などにより生きがい就労提供の場や働き手として、また、地域の支えとしてシルバー人材センターへの期待が高まっているが、全国的には地域の期待に十分応えられていない状況にあることから高齢者にとって魅力があり、地域にとって存在感のあるシルバー人材センターを目指すことが必要である。そのため、特に今年度の「重点目標」としては会員のニーズに沿った多様な就労機会の提供や地域の役に立つ事業の展開など時代の要請にあった事業の展開と「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の拡大とシルバー人材センターのイメージの転換として広報等の積極的な展開が必要となるため、両者一丸となって事業の推進に取り組んでいくこととする。

## 第2 事業の展開

全国的に少子高齢化が進み生産人口が減少する中で益々高齢者に対する就業機会の創出が求められており、また、シルバー人材センターへの期待も高まっている。そうした状況の中で、本年度は高齢者や企業に対してシルバー人材センターの存在を知っていただく必要から各シルバー人材センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を展開することとする。

こうしたことから高齢者や企業の多様なニーズに応えるべく連合会と各拠点センターが一層の連携を図り、次の5つの事項を重点として事業の展開を図る。

### ○会員の増大及び就業機会の拡大

活力ある団体運営を行うには、会員の増大が不可欠であり、会員の増大に対応するには、就業機会の確保が必要である。特に本年度においては女性会員の確保に努め、2年目となる「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の目標値に対し、対応する就業延人員目標を定めて、「PDCAサイクルによる目標管理」を行うことにより目標達成を目指す。

### ○多様な働き方の推進

シルバー事業の基本的な働き方である請負・委任業務に加え、シルバー派遣事業においてもさらに推進していく必要がある。これらの就業形態は、「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」が基本となるが、高齢法第39条に基づく業務拡大も視野に入れ会員や発注者のニーズに沿って対応を図る。

### ○安全・適正な業務運営

安全で適正な就業は、シルバー事業において基本となるものであり、会員の傷害事故や交通事故、さらには発注者に対する損害賠償事故等の防止に努めるとともに公益法人として法令遵守の立場から不適切な請負、委任契約における就業についても「適正就業ガイドライン」に基づき、センターと連合会との連携により是正していく。

### ○地域社会や関係機関との連携

シルバー人材センターは、高齢者の日常生活の場に定着して、働く場を確保していく組織であり、地域諸団体や住民の協力と連携の下で運営されるものであるため、日常的に地方自治体やハローワーク等の関係団体及び業界団体等との情報交換に努める。

## ○新規事業への対応

国が予算枠を拡充している人手不足分野や現役世代を支える分野への就業については、各地方自治体との連携により積極的に取り組み安定的な業務獲得に努める。

## 第3 事業計画

## 【1】中央研修会

全シ協等が実施する研修会及び事業別会議等に積極的に参加し、情報収集に努める。

- ① 新任理事長（会長）研修
- ② 新任事務局長研修
- ③ 中堅職員研修
- ④ 連合・センター職員各種業務会議
- ⑤ 派遣元責任者・職業紹介責任者講習
- ⑥ 関東ブロック連絡協議会の役職員研修

## ○連合会が開催する研修

- ① 経理に関する研修
- ② 補助金に係る研修
- ③ 業務に係る研修

## 【2】安全・適正就業

## （1）安全就業

安全就業には会員自らの意欲が大切で組織を挙げて安全対策の一層の推進を図る必要がある。そうした中で会員への健康管理や業務上での傷害事故や損害事故への認識を高めるため、次の事業を行う。

- ① 「安全・適正就業推進委員会」での事故分析・防止対策
- ② 安全・適正就業推進月間（7月）への取り組み
- ③ 安全パトロールの実施・支援
- ④ 安全就業研修会の開催・参加
- ⑤ 安全就業指導員会議（全シ協主催）への参加
- ⑥ 「安全就業ニュース」の周知・広報
- ⑦ 安全就業に係る取り組み事例等の情報収集・提供
- ⑧ 「高齢者運転ガイドライン」の徹底

## （2）適正就業

平成29年に策定された「適正就業ガイドライン」に基づき、全シ協の指導による請負・委任業務から派遣業務への移行など業務内容を検証する中で、適正な就業に努める。

- ① 「適正就業ガイドライン」に基づく事業内容の検証
- ② 就業時間等の検証による長時間就業の是正
- ③ 「高齢法第39条」による業務拡大の推進
- ④ 適正就業担当者会議（全シ協主催）への参加

## 【3】シルバー派遣事業

本年度6年目となるシルバー派遣事業も各センターの努力により年々事業実績も増え適正就業の観点からも請負・委任業務からの転換等に努めているが、更なる事業拡大のため次の事業を展開する。

- ① 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」や「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用した派遣労働機会の拡大と会員の増大
- ② 派遣事業運営委員会の開催
- ③ シルバー派遣事業実務担当者会議への参加
- ④ 派遣元責任者講習への受講の促進
- ⑤ 就業時間の拡大に伴う知事指定の関係機関との協議

## 【4】職業紹介事業

シルバー事業としての職業紹介事業であることから、60歳以上で主に「臨・短・軽」の雇用を希望する方々に職業を紹介し、高齢者の雇用機会の創出を図る。

また、シルバー事業の請負や委任に馴染まない業務、企業等から求人の相談があればこの制度を活用することにより、就業の機会を確保することとする。

## 【5】普及啓発事業

シルバー事業の意義と各拠点シルバー人材センターの存在を県内全域に広く周知し、会員の増大や就業機会の拡大に繋げるため、連合会は各センターと連携し、次の事項を重点に効果的な普及啓発活動を推進する。

- 〈1〉普及啓発促進月間（10月）の設定
- 〈2〉年間を通じた広報・普及啓発活動の推進
  - ① 様々なメディアを通じた広報活動の推進
  - ② ホームページを活用した広報活動の推進
  - ③ パンフレット等の作成・配布
  - ④ 地方自治体等のイベントへの積極的な参加
  - ⑤ 会報や広報を活用した普及啓発活動の推進

## 【6】指導事業

事業を展開するための財源として、国や各自治体の補助金は大変重要な資金であり、これらは公益法人として公平・公正で開かれた運用が求められる。

- ① 目標達成に向けての「会員の増大」と「就業機会の拡大」の実施指導
- ② 安全・適正就業の推進（適正就業ガイドライン・高齢者運転に係るガイドラインの徹底）に係る指導
- ③ 自治体等との連携による地域ニーズに対応した特性を生かした事業の推進及び支援
- ④ シルバー派遣事業の業務拡大に向けた取り組みへの指導
- ⑤ 経理体制の適正化と会計事故防止の指導

## 【7】情報の収集・提供等

シルバー事業を適切に運営するには、最新の情報を収集する事もまた重要な役割である。全シ協や労働局等から収集した情報を迅速に各センターに伝達し、また、各センター間における調整等を行うことにより効果的運用が図られるよう努める。

## ○統計情報・調査の整備・提供

- ① 「シルバー人材センター事業統計」（月報・年報）の作成・提供
- ② 労働局と連携したシルバー事業に係る調査の実施
- ③ 厚生労働省編職業分類に対応した年度統計の実施

## ○シルバーしごとネットの利用促進

ネットワークによる就業の開拓も重要であることから、しごとネットの活用を促進する。

## ○全シ協会員専用ページによる情報の活用

シルバー事業に関する会議や全シ協が開催する会議、研修会の資料が専用ページを通じて提供されているのでこれを活用する。

- ① シルバー事業に関する施策や報告書などの情報
- ② 「就業機会・会員拡大コーナー」の好事例情報の活用
- ③ 部門別Q & A等事例の活用
- ④ 通達、会議、研修資料の活用

## 【8】就業機会の開拓・拡大

全国的に少子高齢化が進み、また、人手不足分野等の新規事業への参入など高齢者への就業が期待されている中で、高齢者（会員）の能力や希望に応じた就業機会を確保できるよう県下自治体や公共機関、事業所等を積極的に訪問し、シルバー人材センター事業の広報活動等により周知を図り、会員の確保と就業機会の開拓・拡大に努める。

- ① 新規事業所等への訪問による就業開拓
- ② 人手不足分野の要支援高齢者に対する事業等への積極的な参入
- ③ ボランティア活動等を通じた就業機会の開拓
- ④ シルバーしごとネットを活用した就業開拓の推進
- ⑤ 需要に対応する技能を持った新規会員の確保と育成
- ⑥ 企業等へ的高齢者の就業に関するアンケートの実施と分析

**[9] 新規事業への検討**

人手不足分野である介護予防生活支援総合事業（新総合事業）や福祉・家事援助サービス事業など要支援高齢者に対する事業、また、子育て現役世代や子どもたちへの支援、空き家管理事業など地域のニーズに対応した新規事業に対して地方自治体等と連携し積極的な参入に努める。

**第4 高齢者活躍人材確保育成事業**

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手の不足が問題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題である。しかしながら、高齢者の中には働くことに意欲的な者がいる一方で、経済的理由から働く必要がない、引退して好きなことを楽しみたい等といった理由から必ずしも働くことに意欲的でない者も多くみられる。また、地域の企業の中には、未だ高齢者の活用に積極的でない、又は興味はあるがどのように活用していいかわからない企業もある。

こうした高齢者や企業に対して、シルバー人材センターを積極的に周知・広報するとともに、実際の就業体験を通じて高齢者、企業双方のシルバーに対する理解を深めること、高齢者がシルバーに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、シルバーの新規会員、新たにシルバーを活用する企業を増加させることを目的として行うこととする。

**第5 法人管理事業**

**[1] 会員の状況**

現在、県内9センターの正会員と賛助会員18団体等の会員であるが、今後も引き続きご理解をいただき賛助会員の確保と新規賛助会員の勧誘に努めることとする。

**[2] 諸会議の開催及び参加**

連合会運営に重要な法律及び定款に定められている会議を開催し、また、関連団体が開催する会議に参加しての情報収集を図る。

- ① 定時総会
- ② 理事会
- ③ 全シ協定時総会
- ④ 関東ブロック連絡協議会理事会・事務局長会議



山梨労働局長に要望活動



山梨県産業労働部長に要望活動

令和元年度第1回安全・適正就業推進委員会が去る6月27日に甲府市「ぴゅあ総合」において開催されました。強化月間を控え、連合内における令和元年度事業の取り組み方針や事業の理解を徹底し、本県連合内からの事故根絶を目指すことや、強化月間中の各センターの事業の取り組み計画及びパトロール計画などが確認されました。また、「安全標語」の選定についても協議がなされました。

**平成30年度の事故分析**

平成30年度 就業中・保険対象傷害事故分析

従事していた仕事内容	件数	割合(%)	事故の型	件数	割合(%)	症状	件数	割合(%)
除草・草刈り等	8	36.4%	転倒	11	50.0%	打撲	5	22.7%
運搬・清掃等	5	22.7%	刺され、噛まれ	2	9.1%	骨折・ひび	4	18.2%
植木剪定等	4	18.2%	切れ、こすれ	2	9.1%	切り傷・すり傷等	3	13.6%
軽作業	3	13.6%	墜落、転落	2	9.1%	火傷・裂傷、咬傷等	2	9.1%
その他	2	9.1%	飛来、落下	1	4.5%	その他	8	36.4%
計	22	100.0%	その他	4	18.2%	計	22	100.0%
			計	22	100.0%			

平成30年度 就業途上・保険対象傷害事故分析

事故の型	件数	割合(%)	部位	件数	割合(%)	症状	件数	割合(%)
転倒	1	50.0%	腰部、臀部	1	50.0%	骨折・ひび	2	100.0%
その他	1	50.0%	肩部	1	50.0%	打撲	0	0.0%
計	2	100.0%	脚部	0	0.0%	捻挫	0	0.0%
			首、頸椎	0	0.0%	計	2	100.0%
			計	2	100.0%			

平成30年度 保険対象損害賠償事故分析

従事していた仕事内容	件数	割合(%)	事故の型	件数	割合(%)	仕事の内容	支払金額	割合(%)
除草・草刈り等	26	70.3%	飛散させた物で損壊	19	51.4%	除草、草刈り	5,302,555	66.9%
植木剪定等	5	13.5%	機具・用具を接触させて損壊	6	16.2%	その他	2,627,590	33.1%
その他	6	16.2%	落下させて損壊	4	10.8%	計	7,930,145	100.0%
計	37	100.0%	その他	8	21.6%			
			計	37	100.0%			

令和元年度安全・適正就業推進委員会を開催する

## 令和元年度 安全・適正就業強化月間事業 安全パトロールが実施されました

シルバー人材センター事業における安全・適正就業対策につきましては、例年、国が実施する全国安全週間に合わせて、本年度も7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業対策の一層の推進を図ることとしました。

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、このことから日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが肝要であります。

安全・適正就業について、全ての会員、役職員が個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化に努めてきました。

### 具体的な取り組み

- ① 安全・適正就業推進委員会の開催
- ② 安全・適正就業推進委員・安全委員研修会の開催
- ③ 巡回パトロールの実施
- ④ 安全就業及び適正就業に係る取組事例等の収集、提供
- ⑤ 安全標語の募集、選定、表彰



## 高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手の不足が問題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題であります。

しかしながら、高齢者の中には、働くことに意欲的な者がいる一方で経済的理由から働く必要がない、引退して好きなことを楽しみたい等といった理由から必ずしも働くことに意欲的でない者も多くみられます。

また、地域の企業の中には、未だ高齢者の活用に積極的でない、又は、興味はあるがどのように活用していいかわからない企業もあります。

こうした高齢者や企業に対して、シルバー人材センターを積極的に周知・広報するとともに、実際の就業体験を通じて高齢者、企業双方のシルバーに対する理解を深めること、高齢者がシルバーに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、シルバーの新規会員、新たなシルバーを活用する企業を増加させることを目的に実施しています。

具体的には、シルバー事業及びシルバー人材センターの周知・広報としてショッピングモール等での「高齢者おしごと相談」・甲府駅ビルへの懸垂幕・公共交通機関（路線バス）のステッカー掲示や企業職場見学等の実施、各種技能講習会の実施等により「会員の拡大」や「就業機会の拡大」に努めています。



高齢者おしごと相談

# シルバー派遣事業運営委員会

## 事務局長会議

令和元年度第1回シルバー派遣事業運営委員会が去る8月8日に山梨県立男女共同参画推進センター「ぴゅあ総合」において開催され、来年度（令和2年度）以降における各拠点センターの「業務拡大の意向」や「有給休暇の取得義務化の遵守」、「安全衛生管理体制の整備」などについて協議がなされました。

引き続き、事務局長会議が開催され昨年度（平成30年度）より全シ協で示されました7か年計画の「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の拡大について全国的にも会員が減少している中で喫緊の課題として県内の現状や今後の対応策等について協議をいたしました。

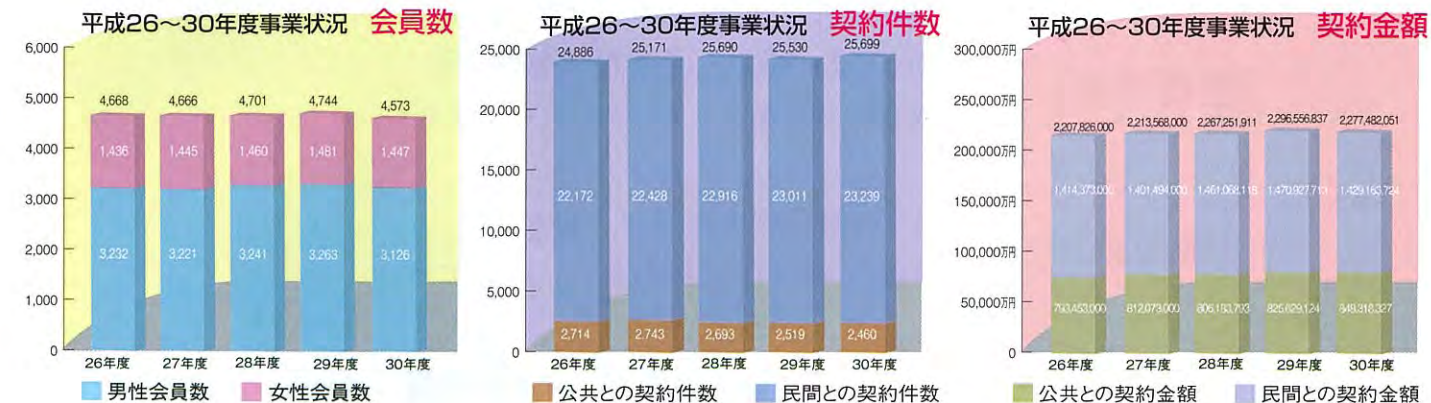
### 【高齢法第39条に基づく山梨県知事指定業務】

○平成31年4月1日施行

地域	業種 (日本標準産業分類 中分類)	職種 (厚生労働省編 職業分類 中分類)
中央市	85 社会保険・社会福祉・介護事業	38 生活衛生サービス職業
	88 廃棄物処理業	69 定置・建設機械運転の職業
	95 その他のサービス業	40 接客・給仕の職業
笛吹市	01 農業	46 農業の職業
大月市	88 廃棄物処理業	78 その他の運搬・清掃・包装等の職業



# 平成30年度 県内シルバー人材センターの事業状況報告



### 平成30年度 シルバー人材センター実績表

(平成30年4月～平成31年3月)

シルバー人材センター名	月末会員数(人)						就業実員数		就業率		事業別就業員数(人日)			事業別契約件数(件)					
	男	入会退会	女	入会退会	計	入会退会	うち派遣登録	請負委任	派遣	請負委任	派遣	合計	請負委任	派遣	合計				
(公社)甲府市シルバー人材センター	406	49 85	193	37 61	599	86 146	52	11	63	520	34	86.8%	54.0%	50,898	3,119	54,017	5,658	21	5,679
(公社)東部広域シルバー人材センター	271	30 57	74	20 13	345	50 70	15	1	16	295	19	85.5%	118.8%	28,005	2,652	30,657	2,179	4	2,183
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	288	34 46	198	46 42	486	80 88	21	13	34	445	45	91.6%	132.4%	44,782	4,523	49,305	2,003	30	2,033
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	366	47 83	114	21 26	480	68 109	26	4	30	442	28	92.1%	93.3%	47,482	3,664	51,146	2,045	6	2,051
(公社)峡北広域シルバー人材センター	357	50 63	122	14 30	479	64 93	21	19	40	412	56	86.0%	140.0%	37,195	5,356	42,551	3,412	31	3,443
(公社)峡南広域シルバー人材センター	261	53 50	142	30 26	403	83 76	74	11	85	368	68	91.3%	80.0%	27,405	5,905	33,310	2,360	66	2,426
(公社)峡中広域シルバー人材センター	523	69 78	237	41 33	760	110 111	105	54	159	625	114	82.2%	71.7%	66,856	11,371	78,227	3,036	97	3,133
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	300	38 53	177	30 40	477	68 93	35	38	73	376	53	78.8%	72.6%	35,857	4,181	40,038	2,306	27	2,333
(公社)笛吹市シルバー人材センター	354	51 43	190	29 31	544	80 74	80	32	112	446	75	82.0%	67.0%	44,039	7,453	51,492	2,700	35	2,735
合計	3,126	421 558	1,447	268 302	4,573	689 860	429	183	612	3,929	492	85.9%	80.4%	382,519	48,224	430,743	25,699	317	26,016

シルバー人材センター名	契約金額(千円)										
	請負・委任契約金額			派遣事業契約金額			事業別契約金額			金額割合	
	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間
(公社)甲府市シルバー人材センター	51,813	167,224	219,037	4,784	11,462	16,246	56,597	178,686	235,283	24.1%	75.9%
(公社)東部広域シルバー人材センター	59,492	109,830	169,322	1,882	16,680	18,562	61,374	126,510	187,884	32.7%	67.3%
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	104,596	119,270	223,866	15,705	11,278	26,983	120,301	130,548	250,849	48.0%	52.0%
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	112,107	192,911	305,018	9,676	5,002	14,678	121,783	197,913	319,696	38.1%	61.9%
(公社)峡北広域シルバー人材センター	68,012	157,489	225,501	8,836	23,358	32,194	76,848	180,847	257,695	29.8%	70.2%
(公社)峡南広域シルバー人材センター	67,601	99,503	167,104	13,997	15,733	29,730	81,598	115,236	196,834	41.5%	58.5%
(公社)峡中広域シルバー人材センター	161,408	160,945	322,353	39,505	19,233	58,738	200,913	180,178	381,091	52.7%	47.3%
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	42,754	125,189	167,943	9,485	12,132	21,617	52,239	137,321	189,560	27.6%	72.4%
(公社)笛吹市シルバー人材センター	65,301	149,452	214,753	11,364	32,473	43,837	76,665	181,925	258,590	29.6%	70.4%
合計	733,084	1,281,813	2,014,897	115,234	147,351	262,585	848,318	1,429,164	2,277,482	37.2%	62.8%

(公社)山梨県シルバー人材センター連合会





## 令和元年度・2年度 安全標語

### 【最優秀賞】

わかってる 慣れと過信が 事故の元  
(公社)南アルプス市シルバー人材センター 井上富士夫 様

### 【優秀賞】

もう一度 その確認が 身を守る  
(公社)峡北広域シルバー人材センター 堀内 仁 様

### 【佳作】

気を抜くな 小さな油断が 大きな代償  
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター 荒井すわ子 様

### 【佳作】

気をつけて その一言を お守りに  
(公社)笛吹市シルバー人材センター 沢登清一郎 様

### 【佳作】

慣れと過信は事故の元 ルールを守り安全就業  
(公社)南アルプス市シルバー人材センター 井上富士夫 様

### 編集後記

今年は、長梅雨で連日蒸し暑い日が続きました。また、日照不足のため農作物にも影響があったようであります。

梅雨明け後も暑い日が続いた夏でした。こうした異常気象も地球温暖化によるものなのかもしれませんね。

シルバー事業も会員の拡大や就業機会の拡大等が喫緊の課題となっていてありますが、これからも皆様に期待されるシルバー事業の推進を目指し、職員一丸となって務めて参りますので、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ◇事務局職員の異動◇

【採用】 業務員 仲 沢 隼 (平成30年10月1日採用)  
嘱託職員 白 倉 とよみ (令和元年5月1日採用)

【退職】 嘱託職員 太 田 潤 一 (平成31年3月31日退職)  
〃 齋 藤 和 子 (平成31年3月31日退職)

シルバー  
やまなし

第38号

●編集発行  
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会  
甲府市飯田3-3-28 スカイハイツ1F  
TEL055-228-8383

●令和元年9月発行  
●印刷所 アイ プランニング